

さらなるごみの減量・分別にご協力を

「ごみ減量20%大作戦」を展開し、半年あまりが経過しました。ごみに対する関心・減量意識が芽生え、あちこちでごみ談議の花が咲いているようです。

皆さんのごみ意識の高まりとともに、ステーションに持ち出される可燃ごみの量は大きく減っています。

昨年度、実施した「みんなでごみを考える会」や、今夏に行ったごみステーションパトロールでは多数の方の参加を得て、容器包装プラの分別と、指定袋でのごみの持ち出しも、ようやく皆さんの生活に定着してきたようです。

半年が経過した今、ごみ量はどのように変化したでしょう。

下のグラフをご覧ください。

このグラフは、今年の1月から9月までの9箇月間において、ちょうど1年前の同じ月ごとのごみ量を対比させることによって求めた増減率の変化を示したものです。

1・2月は増減率に大きな変化は見られません。

3月は、4月から新制度が導入されるためか、30%近くごみが増えてしまいました。ステーションには溢れかえるほどのごみが持ち出されていましたね。

4月「ごみ減量20%大作戦」の開始とともに、ごみは急激に減りました。可燃ごみは圧倒的に減り、今まで、ごみであふれかえていたステーションはずいぶんスリムになりました。

5月以降は少しずつ増えてきていますが、それでも前年度と比較すると「ごみ減量20%」の目標値は達しています。

皆さん一人ひとりが、新制度を期にごみ減量に取り組んだ大きな成果といえます。

私たちが生活するうえで切っても切り離せないごみ…。

ごみをなくすことは出来なくても、減らすことは出来るのです。

これからも身近な工夫で、あなたの生活に「ごみ減量20%」を定着させましょう。

ゴミ増減率の月別変化(1年前の同月比較)

(平成19年)

